

美 唄

「よい歯のコンクール」審査を担当してみた

6月9日(金)「美唄市保健センター」において、平成18年度「よい歯のコンクール」が3歳児105名の対象者のうち当日受診者36名を対象に、美唄市と美唄歯科医師会主催のもとに催されました。

吉村歯科医院の吉村裕美子先生と衛生士さん・美唄市委嘱の木明衛生士さんと共に審査を担当しましたが、新人会長として初めての経験でありました。

毎月の保健センターでの1.5歳児と3歳児の歯科健診で、子供は少ないが口腔内は以前と比較して格段にきれいになっていると認識はしていましたが、参加のお母さん達の熱心さには敬服します。昨今の暗い悲慘なニュースに比べ、明るい未来も感じさせてくれます。

今年度の栄えある入賞者は

最優秀賞 桑折 侑寿(くわおり ゆず)ちゃん

優 秀 賞 多田 百寧(ただ もね)ちゃん

優 秀 賞 大野 朝日(おおの あさひ)ちゃん

優 秀 賞 長谷部美由(はせべ みゆ)ちゃん



でした。

皆さんおめでとう。お母さんに感謝しようね。美唄歯科医師会HP上にて、カラー写真がご覧になれます。

審査の感想ですが、パッと見た目に素晴らしくきれいなお口の中にも、下顎のDやEの舌側に歯垢の付着が数多く認められることは意外であった。その場所の清掃が忘れられているか、歯ブラシが柔らかすぎるか。歯ブラシの硬さの誤りは、ソフトが歯ぐきを傷つけることがなく、歯肉の退縮を招かないという単純な思い込みが原因である可能性がある。確かに何度も繰り返して動かしていれば、きれいになるかもしれないが、1～2回軽く磨いただけで清潔になる硬さで小さめの大きさが、世の中に流通していないのは問題である。二次審査該当者には当該部に染め出し液を用いるなどの工夫も必要かと感じた次第。

最後になりましたが、美唄市保健センターの皆さん・吉村先生と衛生士の皆さんなど、ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

(小森英世記)